

## 安全登山講演会 「安全に山に登るためには」山登りのKY〔危険予知〕トレーニング 講師 高妻 潤一郎 （白根御池小屋管理人・埼玉支部安全登山委員）

高妻講師の今回の講演はKYトレーニングということで、講師としても初のプログラムである。受講生同士がグループで話し合うというスタイルなので皆さんには前から詰めて、3人掛けで着席いただいた。40名がまとまって着席し、いつもと違う雰囲気だ。

配布された資料には、ラインのやり取りの実例が記載されており、そのやり取りに潜んでいる危険をどう洞察するかという訓練である。初めの例は見知らぬ同士がラインのやり取りで南アルプスに行こう！という例でどこかで見聞きしたような話である。最初はこんな登山者は話にならないなと感じたが、グループでい



ろいろ意見交換していくとそこに潜むリスクが明確に見えてくるし、講師のリードで各グループが発表すると、更にそこから派生して学ぶべきことが明らかになってくる。グループトレーニングの効果である。

山小屋管理人として遭遇した様々な実例の紹介をお聞きしながら三つの事例についてグループの話し合いを進めた。参加者にはベテラン登山者も多かったものと思うが、皆さん予想以上に熱心にグループ訓練に取り組んでおられ、さすがである。



他人事ではなく自分にもあり得る危険だという感想も多く、今までとちょっと趣の異なる講演会であった。

言うまでもなく登山は常に危険と隣り合わせのスポーツである。このような危険を予知する姿勢と能力が必須であり、その訓練として実に有効であり、また、多くのメンバーがそれを共有できることは意義深いものがある。

埼玉支部会員以外の参加者が多かったが、支部会員の多くの参加を望みたい。

安全登山委員 高橋 努